



ドローンプログラミングの様子

企業等と連携したICT教育 (部活動等への指導者派遣)

2018年度から、ICT人材の育成強化のため、中・高等学校のICTに取り組む課外活動(パソコンクラブ等)に、県内外のICT関連企業などの技術者や専門家を指導者として派遣しています。

急速に発展する高度情報化社会において、今後、より専門的な知識や技術が求められることを見据え、コンピュータやプログラミングなどに関心のある生徒の能力を伸ばすことにより、将来、ICT分野でリーダーとなり得る人材の育成をめざしています。



オリジナルAIスピーカーへのプログラミングの様子

この取組は、授業で学ぶプログラミング教育のステップアッププログラムと位置づけており、これまでに16校の中・高等学校に指導者を派遣し、AIスピーカーの開発やゲーム制作など、高度な知識や技術の習得を支援しています。

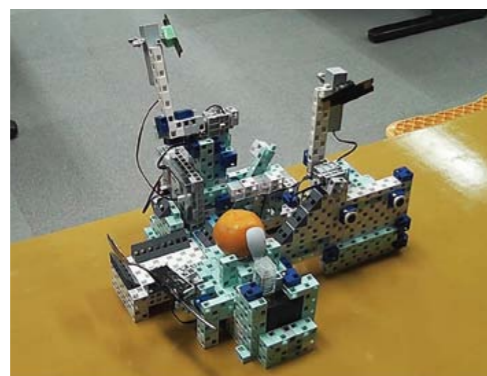
きのくにICTプログラミングコンテストを開催!

児童生徒のさらなる学習意欲の向上を図るため、「きのくにICTプログラミングコンテスト Switch Up WAKAYAMA 2019」最終審査会&表彰式(主催:和歌山県、和歌山県教育委員会)を開催したところ、多くの一般来場者や協賛企業の方などにお越しいただきました。

最終審査会では、国内外で活躍されている有識者や企業の方を審査委員として招き、一次審査を経て最終審査に進出した児童生徒が、自らプレゼンテーションを行い、自らの作品の出来映えを競い合いました。

来年度も実施予定です。多くのご参加をお待ちしています!

■ コンテスト応募作品



「有田みかんを全世界にPRしよう」

▶ 有田市立保田中学校

ロボットに「ありだむき」をさせようとした作品。「ありだむき」をやすくする「ありだぎりロボット」をロボットキットで制作。



「白浜と有田みかんをゲームでPR!」

▶ 和歌山市立西脇中学校

前から流れてくるみかんをとりながら、白浜のテーマパークに向かうゲーム。



最終審査会&表彰式の様子は、こちらから▶



届けよう 和の心 若葉が奏でるハーモニー

全国高等学校総合文化祭は、「文化部のインターハイ」とも呼ばれる高校生による国内最大規模の芸術文化の祭典です。

古来より神々が鎮まる神聖な場所・紀伊山地が広がるこの和歌山の地に、全国・海外の高校生たちが集い、様々な文化活動を展開します。

開催時期 令和3年7月31日(土)~8月6日(金)

開会行事 総合開会式、パレード

開催部門 規定部門(19部門)、協賛部門(3部門)

国際交流事業 海外から高校生を招へいし、総合開会式への参加、開催県高校生との文化交流等を実施

生徒企画委員会

県内高等学校の生徒39名が生徒企画委員として、5つの部会(総務・総合開会式・パレード・広報イベント・国際交流)に分かれ、和歌山らしいおもてなしの企画、開会行事、PRイベント、海外招へい校との交流など、大会の企画・準備を行っています。



500日前大会PRイベント

日時 令和2年3月15日(日) 13:00~15:00

場所 和歌山駅西口地下わかちか広場



県内高等学校文化部のステージ発表や楽しい体験ブースもあります。高校生だけでなく大人から子供まで楽しめるので、ぜひお越しください! 大会マスコットキャラクターさいちゃんも登場!

紀の国わかやま総文2021の開催をきっかけに、活動の盛り上がっている部活動を訪問しました!

県立向陽高等学校 新聞部



Q.どんな活動をしていますか。

A 向陽高等学校新聞部は、今年度から1年生12名で活動しています。学校行事の取材や開智高校との合同取材で技術を磨いています。夏休みにはテレビの情報番組にも出演させていただきました!

Q.本番に向けての抱負を聞かせてください。

A 最近では、新聞制作力、チームワークの向上を実感しています。紀の国わかやま総文2021でも、個性の強さと部員の仲の良さで大会を盛り上げます!

Q.最近の様子を教えてください。

A 智辯学園和歌山高等学校小倉百人一首かるた部は、現在、高校生が4人、中学生が10人で活動しています。最近では県内の学校にかかるた部が増えてきて、紀の国わかやま総文2021に向けて活動の幅も広がってきています。

Q.競技かるたについてPRをお願いします。

A 「ちはやふる」の影響もあり、全国的に競技人口も増えてきている競技かるたですが、格闘技と言っても過言ではないくらい、緊迫した熱い戦いが繰り広げられます。そんな競技かるたをみなさんもやってみませんか?



智辯学園和歌山高等学校 小倉百人一首かるた部